

令和6年度 地域交流会 in 東北

まちづくりの担い手や関心のある方々が集まり、先行事例や解決策のシェアや学び合いを通して、これからのまちづくりを考える仲間、きっかけづくりを行うための交流会を開催します。
皆さんの想いを持ち寄り、共に未来のまちづくりを考えましょう！

申込締切
1/10(金)
17時

定員
80名

日程

2025年 1月24日 (金)

場所

hacchi

八戸ポータルミュージアム はっち
(青森県八戸市三日町11-1)

対象

行政機関、商工団体、
まちづくり会社、商店街関係者等
(役職・経験・年代は問いません！)

申込

上記締切りまでに、
右QRコードより
お申込みください。



プログラム

12:30~12:50

受付

13:00~14:00

現地視察

14:20~15:15

講演

「自分たちの好きな街は自分たちで面白く
していく」まちづくりリノベーションの挑戦

PointFive株式会社 代表取締役

野田 賀一 氏

15:15~16:20

事例紹介

中小機構 中心市街地・商店街サポートアドバイザー

下田 孝志 氏 古川 直文 氏 小口 英二 氏

16:30~17:10

個別相談会

(事前申込制)

※プログラム終了後、意見交換会(名刺交換会)を
実施します

主催：東北経済産業局 共催：(独)中小企業基盤整備機構
協力：株式会社まちづくり八戸、八戸市、八戸商工会議所

事務局：東北経済産業局 産業部 商業・流通サービス産業課
(宮城県仙台市青葉区本町3-3-1)

✉ : bzl-shougyouchukatu-tohoku@meti.go.jp

講師・専門家のご紹介

講演

「自分たちの好きな街は自分たちで面白くしていく」まちづくりリノベーションの挑戦
 ; 「種を蒔き、果実を育てる」0.5歩の挑戦と伴走支援で広がるまちづくりの可能性とは



野田 賀一 氏

青森県東北町出身。2022年にPointFive株式会社を設立し、コワーキングスペースの運営・支援事業やコミュニティデザインを活用した各種プロジェクトを手がける。

また、東京都西大井創業支援施設のセンター長、埼玉県飯能市のまちづくり会社、八戸市の「8サポmeets」等へも参画し、複数地域での起業家育成、まちづくり事業、地域経済活性化等に多角的に取り組んでいる。

今回は、主体的なプレイヤー創出を目的としたまちづくりリノベーションプロジェクトを軸にお話しいただく。

 中心市街地・商店街等診断・サポート事業
 パッケージ型支援

事例紹介

 “関わりしろ”のあるまちへ
 (宮城県石巻市の事例)

山形まちづくり(株)常務取締役。まちづくり会社と商店街組織の両面から、中心市街地の魅力や価値の維持・向上を図る事業や活動をマネジメントし、現場実務は約30年。これまでの常識にとられない柔軟な発想で独自の取組を進めており、近年は若年層からのまちづくり人材育成事業にも携わる。

石巻市の中心市街地における、多くのまちづくり団体や市民を巻き込んだ「エリアプラットフォーム」の構築を通じて、まちづくり会社が黒子となりながら、誰もがまちと関わる機会を増やし、魅力あるまちづくりに取り組もうと動き出した事例についてご紹介いただく。



下田 孝志 氏

 2,000人のまちの未来づくり
 (宮城県栗原市の事例)

未来まちづくり研究所 代表。まちづくり会社の設立から運営において約20年間の経験と様々な事業を立ち上げた経験を持つ。中心市街地の計画立案やワークショップの開催など関係者(学生・若者等)を巻き込みながら、リノベーションや空間利用を一緒に考えている。

六日町通り商店街を中心に、地域おこし協力隊等の外部人材巻き込みによる、2,000人規模のエリアにおける賑わいの創出、新たな事業や体制づくりの動き出しについてご紹介いただく。



古川 直文 氏

 新たな発想、新たな概念を加えたまちづくりの体制づくり
 (静岡県島田市の事例)

たじみDMO COO。まちづくり会社と観光協会が統合した組織において、中心市街地活性化と観光の振興に取り組む。

また、地域の発信拠点となる「ヒラクビル」などリノベーションによる魅力づくりや地域内の合意形成への取組を現場の実務者として行っている。

静岡県島田市における、これまでの商店街活性化の発想とは異なる新たな体制づくりを地域に導入できるようなサポートの状況についてご紹介いただく。



小口 英二 氏